

本町田ひなた小学校の体育館を1階に 設けることを求める請願

【請願要旨】

近年、日本列島の地震活動が活発化しており、M7.3の多摩直下地震が30年以内に発生する確率は70%とされています。このため、避難施設は車いすを使う高齢者や肢体不自由の方々を含めて、各家族全員が近隣住民と一緒に避難できることが不可欠です。

ところが、本町田ひなた小学校の基本設計図を確認したところ、体育館が2階に設けられていることが分かりました。体育館が2階にあることで、次の懸念があります。

- ①車いすを使う高齢者や肢体不自由の方々は階段を使えないため、地震による電柱の倒壊により停電が発生した場合、エレベーターを使えず、家族や近隣住民と一緒に2階の体育館に避難できなくなります。
- ②要求水準書では、1階に避難可能な部屋を設けるとしていますが、車いすを使う高齢者や肢体不自由の方々がそこを利用する場合、他の避難者と別れて滞在することになり、安全を確認し難くなります。
- ③マンホールトイレは地面に設置されるため、2階の体育館からトイレに行く度に、1階に降りてから外に出る必要があります、不便です。

また、地震被害が甚大で、避難施設での生活が長期にわたる場合、避難されている方や近隣住民への食料提供に給食室を使う可能性があります。その場合も考えて、体育館と合わせて、給食室も1階に設置する方が良いと考えます。

新校舎の耐用年数は80年です。そして、2028年の完成から80年間、避難施設だけでなく、地域の活動拠点としても使い続けることになります。そのためには、新校舎の使い勝手や構造について、学校の教職員、子どもたちと保護者、さらに地域住民の方々の意見をできるだけ多く集めることが大切です。そして、それらの意見をできるだけ新校舎の構造に反映させることが大切だと考えます。

参考のために、いくつかの意見を記します。

- ・体育館を1階に設けられない場合は、車いすでも2階に上られるようにスロープを設けたらどうか。
- ・重量の大きなプールが4階にあると、想定を超える地震が来た場合、建物が大きなダメージを受けて修復不可能になる可能性が増すので、1階に設置すべきではないか。
- ・学校だけでなく、地域住民と一緒に使うためには、もっと広い空間が必要ではないか。
- ・そのために、建物の中央にある吹き抜けを無くし、有効活用してはどうか。

ご検討、よろしくお願いいたします。

【請願項目】

1. 本町田ひなた小学校校舎の体育館を1階に設けることを求めます。